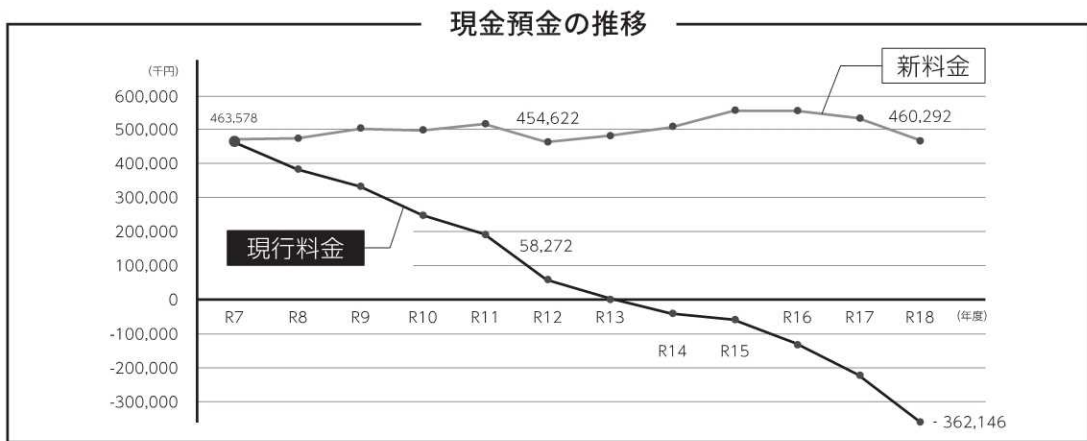


与謝野町水道施設耐震化計画は、町ホームページからご確認ください。



【令和7年11月請求分から】

水道料金を値上げ させていただきます。

2 水道施設の耐震化と 老朽化対策にかかる費用

本町では水道施設耐震化計画を策定し、令和3年度から水道施設の耐震化に取り組んでいます。5年度末の耐震化率は水量ベースで浄水場が約81%、配水池が約60%、

度を除いて赤字が続いています。平成29年度に約11億円あった現金預金が令和5年度末には約6億円まで減少しており、このままでは13年度に底をつく見通しです。現金収支が赤字になっている原因は、水道水を供給するためにかった費用を料金収入で賄えていないことです。1m(1000ℓ)の水道水を作るのに254.7円かかっているのに対して、皆さまからいただいている水道料金の平均単価は1mあたり182.6円となっており、1mにつき差額の約72円が赤字となっています。

基幹管路（重要な水道管）が約54%となっており、この値は全国平均および京都府平均よりも高くなっています。

しかしながら、水道管の大半を占める一般の水道管（約200km）の耐震化には未着手の状態です。さらに、老朽化した浄水場や配水池を将来の水需要を見据えたかたちで統廃合し、効率化を図るとともに耐震化を進める必要があります。耐震化計画では令和18年までの11年間で、基幹管路の耐震化や男山配水池の更新などに取り組み予定です。

与謝野町の上下水道事業は、使用者の皆さまから納めていただく上下水道料金で事業運営をしていく「独立採算」を原則としています。また、住民生活および社会活動を支える重要なインフラであり、将来にわたって健全に維持していかなければなりません。

上下水道事業の持続可能な経営基盤を作るため検討した結果、水道料金を値上げせざるを得ないとの判断に至り、値上げをさせていただくことになりました。皆さまのご理解とご協力をお願いします。

問 上下水道課 ☎ 43-9031

これまでの経過

安心・安全な水道水を供給するため、上下水道事業の持続可能な運営基盤の構築に向けて、令和6年4月に上下水道審議会に諮問を行い、本年1月に答申を受けました。答申の主な内容は、大規模災害時を想定し、最低限の現金預金（4億円）を維持するため「水道料金の基本料金と基本水量を見直した料金（平均改定率19.9%）」に改めることが適当」、また、「令和5年6月に改定した下水道使用料と農業集落排水施設使用料の改定は見送る」というものでした。

この答申をもとに、3月定例会に水道料金に関する条例改正案を提案し、可決をいただきました。

値上げをする理由

1 現金預金の減少 【実質赤字】

水道事業会計の決算は形式上は黒字ですが、現金収支は令和5年

3 電気料などの 物価高騰の影響

水道水を作りご家庭まで水を届けるためには、取水場、浄水場、中継ポンプ場、配水池など多くの施設を経由しており、それぞれの過程で非常に多くの電力を必要としています。近年、電気料金の高騰のほか、浄水場で使用する薬品代や機械代、さらには水道管などの材料代や人件費など、さまざまな物価の上昇が続いており、非常に大きな影響を受けています。



令和5年度に耐震化工事を終えた男山浄水場の沈殿池



今後更新予定の男山浄水場の配水池